

GSRセンサ原理を活用した世界最小サイズのnTメータ

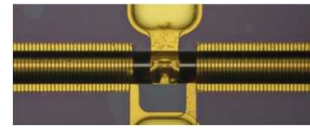
GSR-001

特徴

- 検出力：1nT@0.1~10Hz
- 素子長さ：2mmで、ミニ空間の微小磁界
- センササイズ：12mm×38mm (16mm×73mm)
- 近接測定が可能
- 計測器とPCのみの構成
- ハンディタイプで使いやすい
- PC表示、USB電源：5V×0.22W

仕様

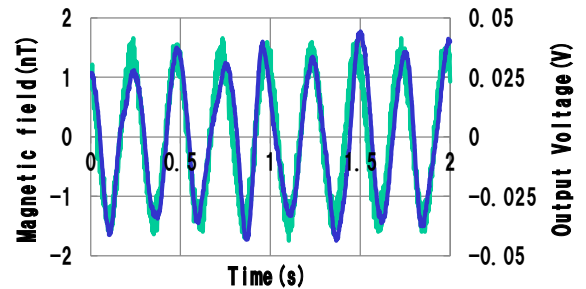
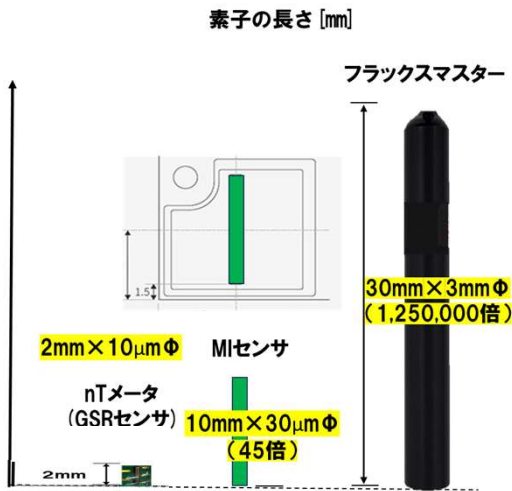
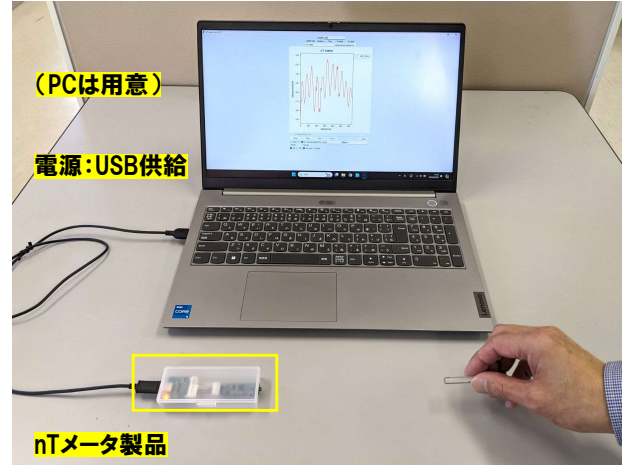
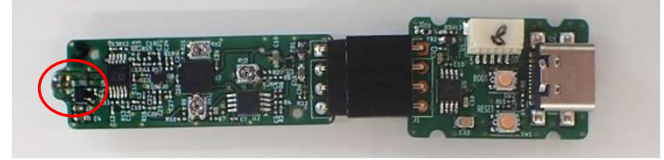
センサ本体仕様 (アナログ)		デジタル仕様	
測定レンジ	±100uT	ODR	1kSPS
直線性	≦2% F.S. (代表値1%F.S.)	分解能	0.12nT/LSB
帯域	DC ~ 1kHz	Bit幅	24bit
感度	25mV/uT	電源	USB (5V)
ノイズ	0.36nT/σ (0.1~10Hz)		
	0.104nT/√Hz@10Hz		
ヒステリシス	なし		
電源	5.5~6V		



直径10μm×2mm

GSR素子
アナログ回路

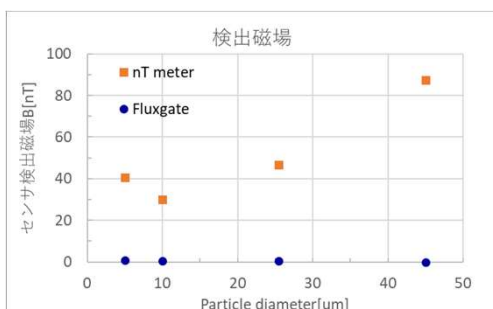
通信回路



応用例

- 磁気微粒子の磁界発生源の研究の最適
- 直径5 μm磁性ナノ粒子の検出装置
- マイクロ磁性体の磁気モーメント測定装置

微粒子検出 (Fluxgateセンサとの比較)



マイクロ磁性体の磁気モーメント測定

